

「輸入家具」個人輸入・購入の注意点！

最近、インターネットを利用して、気軽に輸入家具を購入する人が増えてきました。しかし、せっかく購入したのに、企画やサイズが違って使えなかったなどの失敗も多々あります。そこで、今回、家具、カーテン、照明器具など、購入の際のチェックポイントをご紹介します。



脚物（テーブル・チェア）の場合

輸入家具は生産国の人の体格に合わせて製造されています。特にオランダやドイツ製は、高さがあり、**体型の違いに加え、靴を履いての生活と云う点も注意してサイズ等の確認をしましょう。**足をカットができるデザインだと問題ないのですが、アンティーク調の猫足の家具は無理ですので、きちんと高さを確認しましょう。



置き家具（チェスト・飾り棚）の場合

日本の家具のように、サイズが30センチピッチで製造されているとは限りませんので、買った後で後悔しないためにサイズはしっかりと確認することが重要です。また、**輸入する地域によっては、日本の高温多湿に耐えられない家具もあり、設置場所の環境も考慮する必要があります。**購入後の注意点は、エレガントな猫足の家具の場合、移動時は持ち上げて移動をしないと、脚が簡単に折れてしまう場合があります。設置はまずきちんと計画をたててから行いましょう。**ヨーロッパの家具の場合は、重量があり万一転倒すると危険なので、耐震対策が必要です。**

寝具・ソファの場合

日本のベッドやソファと比較して脚物同様高さがあるので、部屋に置いた時にベッドのイメージが強くなってしまいがちです。また、**マットレス等の大きさも日本の規格に合うのが事前に確認をすることをおすすめします。**意外と多い失敗が、**ソファが玄関や部屋の入り口から入らなかった**です。入り口のサイズの確認もお忘れなく。



カーテンの場合

輸入カーテンは、日本にはない色や柄が豊富ですが、欧米の住宅の窓は、日本に比べて幅が狭く縦長の場合が多いので、既製品の場場合はサイズを十分確認する必要があります。日本ではギャザーを寄せた状態の仕上がり幅を表示しますが、欧米では実際の布幅を表示します。窓幅の2倍（厚手の生地）～3倍（薄手の生地）が目安です。またカーテンをかける時のフックもなく、長さも違ってきますので注意しましょう。



照明器具の場合

電気製品は、国ごとに規格が異なるので、十分注意する必要があります。プラグの種類も様々で、プラグ変更アダプターや変圧器が必要になったり、シーリングライトなども日本製は、おおむね引掛けシーリングというもので取付けますが、海外のものは器具を直接取付けるため、**電気店、工務店等へシーリングの取り付け依頼が必要です。**電球の口金が一般的に使用されているものとは異なります。口金のサイズがE26という規格であれば、ボール型の蛍光灯に取替えが可能です。電球は余分に購入しておくともよいでしょう。

バックナンバー

『287号ソファの選び方』『234号カーテン生地の素材と機能』『210号インテリアのスケールバランス』『186号カーテンづかいのテクニック』『181号座り心地のよい椅子を見つける』もあわせてご覧ください。

上村建設

<http://www.e-uemura.jp>

住まいの宝箱

<http://www.e-juutaku.com>

賃貸物件をお探しの方は

<http://www.happy-house.co.jp>

★詳しいお問い合わせは各支店まで。電話番号は裏面をご覧ください。